

戦跡を
旅する

KANOYA



日本で最も多くの

特攻隊員が飛び立つた 「鹿屋」を訪ねる



(イメージ画像)

戦時中、鹿屋には3つの飛行場(笠原・鹿屋・串良)がありました。

なかでも鹿屋基地は、昭和11年に

海渡洋爆撃から終戦に至るまで、海軍

の重要な基地として活動し続けました。

昭和16年、真珠湾攻撃の作戦計画

が練られた「鹿屋会談」が鹿屋基地内

で行われ、対米戦争が始まるきっかけとなりました。

戦争が激化すると、昭和20年2月

に第五航空艦隊司令部が鹿屋に設置

され、鹿屋から各基地へ特別攻撃の

命令が下されるようになります。

鹿屋基地からは日本で最も多い

九〇八名の特別攻撃隊員が出撃し、

戦死しました。基地(現在の海上自衛

隊鹿屋航空基地)周辺には、今もなお

多くの戦争遺跡が残されています。

①鹿屋航空基地史料館



零式艦上戦闘機五二型(復元機)

まずはココへ!

海軍航空の歴史資料館で、館内には旧海軍創設期から先の大戦、現在の海上自衛隊の活動に至るまでの貴重な資料が展示されています。

【場所】鹿屋市西原3-11-2
【電話】0994-42-0233
【休館】年末年始のみ
【時間】9:00 ~ 17:00
（入館は16:30まで）
【料金】無料



世界で唯一現存する
二式大型飛行艇(二式大艇)



鹿屋市観光物産総合センター

鹿屋航空基地史料館に隣接する物産館。レストランと無料休憩所も完備しています。



③小塚公園(旧鹿屋基地特別攻撃隊戦没者慰靈塔)

鹿屋基地から出撃し命を落とした特別攻撃隊員908名の御靈を祀る慰靈塔が建立され、毎年4月には慰靈祭が行われています。
【場所】鹿屋市今坂町12560(西原台小学校近く)



戦争周辺の鹿屋基地

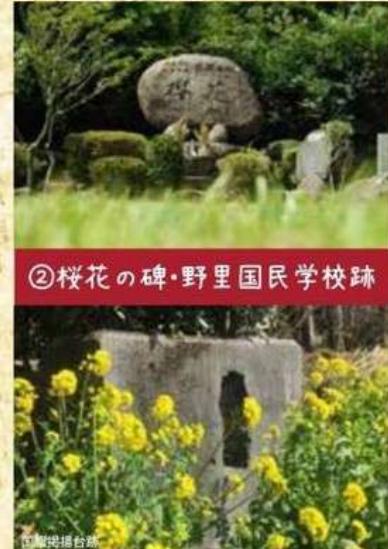


桜花の碑
野里国民学校跡

大隅野里駅跡
第三鹿屋航空隊の碑

海上自衛隊 鹿屋航空基地

至かのやばら園



②桜花の碑・野里国民学校跡

戦争末期、人間爆弾・桜花作戦を行った神雷部隊は野里国民学校を宿舎としていました。

特別攻撃隊員たちが別れの盃を交わした地に建つ「桜花の碑」は、当時報道班員として神雷部隊と生活を共にした作家・山岡荘八氏が揮毫したものです。

【場所】鹿屋市野里町(朝日神社隣)



④田崎掩体壕

鹿屋基地の南側に、軍事用の資材を入れていたと思われる掩体壕が残っています。

【場所】鹿屋市田崎町

⑤第五航空艦隊司令部壕跡

この司令部壕から、特別攻撃作戦の作戦指揮が執られました。(私有地のため、壕への立ち入りはできません。)



特攻隊の足跡が残る

串良エリア

串良基地は、太平洋戦争末期に教育航空隊として開隊され、約五千人の飛行予科練習生が航空機の整備・搭乗・通信等の猛訓練を受けました。

昭和19年4月には実戦部隊に編入され、昭和20年3月からは特別攻撃隊の基地として使用されました。



串良基地から飛び立ち戦死した特別攻撃隊員・一般攻撃隊員を祀る慰靈塔が建立されています。滑走路跡の2本の直線道路は桜の名所としても知られています。

【場所】鹿屋市串良町有里5660-1



③大塚山公園

戦争末期、志布志湾からの米軍上陸に備えた部隊が置かれ、観測等が行われていました。頂上付近の展望所からは志布志湾を見渡すことができます。

【場所】鹿屋市串良町有里2918-1



ドラマ 永遠の0 口ヶ地

串良基地から飛び立ち戦死した特別攻撃隊員・一般攻撃隊員を祀る慰靈塔が建立されています。滑走路跡の2本の直線道路は桜の名所としても知られています。

【場所】鹿屋市串良町有里5660-1

幻の基地となつた 笠野原エリア

④笠野原基地地下道入口跡

【場所】鹿屋市笠之原町
(笠野原小学校から南へ300m)



笠野原飛行場は、大正11年に大刀洗陸軍飛行場(福岡県)の離着陸用の民間飛行場として誕生しました。

真珠湾攻撃に参加した第一航空戦隊艦爆撃隊も、この飛行場を使用していたとされています。昭和20年3月18日以降に米軍による集中爆撃を受けると、格納庫を始めとする基地施設は大きな被害を受けました。

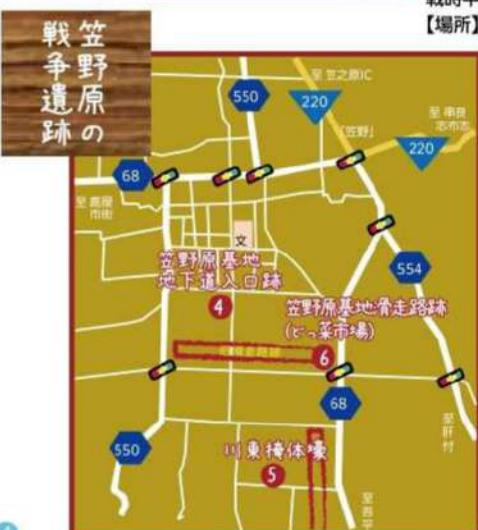
東西・南北に一本ずつ滑走路が伸びていますが、終戦後に払い下げられ、現在は農地や住宅地が広がっています。



⑤笠野原基地跡の川東掩体壕

掩体壕とは、敵機の空襲等から飛行機を守るために作られた格納庫です。戦時中には零戦が入っていたと言われています。

【場所】鹿屋市川東町8206-5





霧島ヶ丘上空からの写真
(戦時中に米軍機撮影)



撮影
ポイント



①大隅野里駅跡

昭和20年3月19日の空襲により貨車が爆発し、多くの犠牲者が出了ました。昭和62年に国鉄大隅線は廃線となり、線路跡は自転車歩行者専用道路(フィットネスパース)として利用されています。



②第二鹿屋海軍航空隊の碑

鹿屋基地の南側には第二鹿屋航空隊が置かれ、予科練生たちが訓練を行っていました。

【場所】鹿屋市野里町4499-1
(みつわ公園内)

戦跡のガイド

鹿屋平和学習ガイドが、個人やツアーにおいて、市内に残る戦争遺跡などのご案内をします。(ガイド料は有償)

平日 9:00~17:00

個人ガイド 5,000円~

団体ガイド 7,000円~

【申込先】鹿屋市観光協会(T E L:0994-41-7010)



ご予約は
こちらの
QRコード
から



戦跡ガイド モデルコース (個人)

①
コース

「笠野原・串良基地跡」 2.5H

川東掩体壕

地下壕第一電信室

串良平和公園慰靈塔



その他
団体コース
(5名~)もあ
ります。詳しく述べ
お問い合わせ
下さい。

*バス1台につき、
ガイドが1名同乗

②
コース

「鹿屋基地周辺と進駐軍上陸の地」 2.5H

小塚公園慰靈塔

桜花の碑

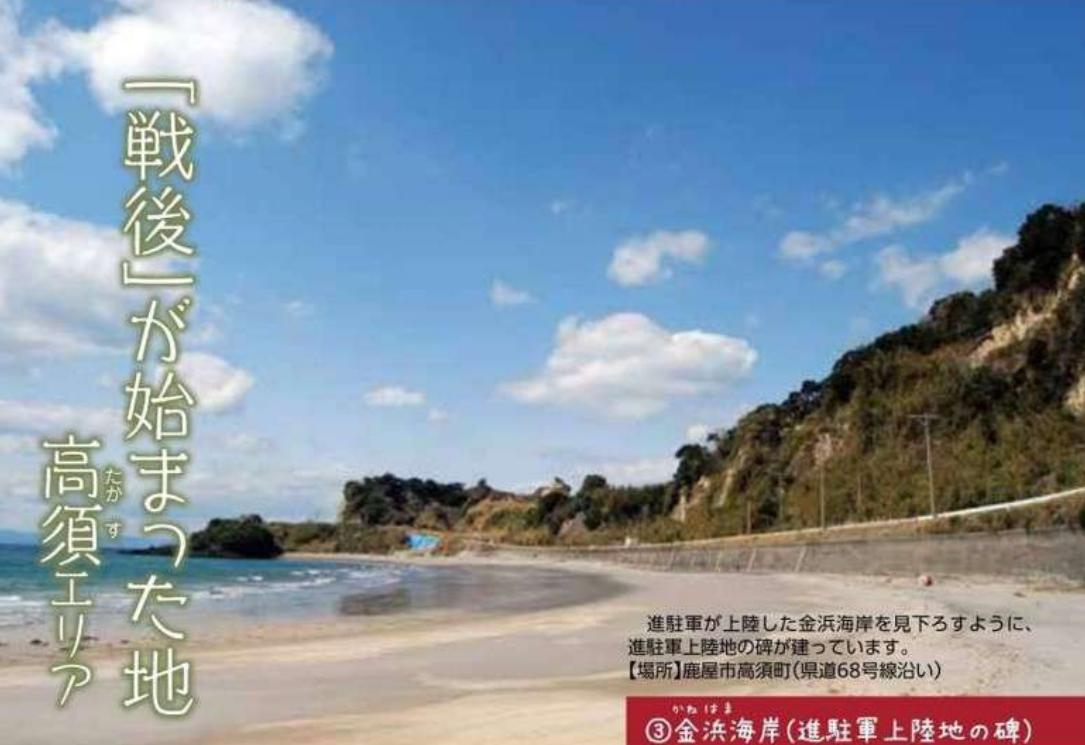
高須トーチカ

金浜海岸



その他 ~野里エリア~

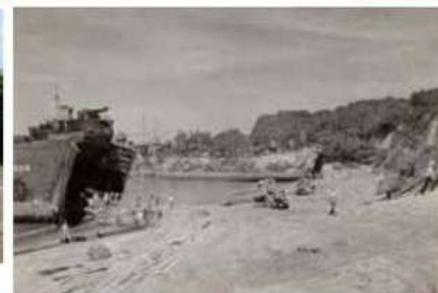
「戦後」が始まつた地



進駐軍が上陸した金浜海岸を見下ろすように、
進駐軍上陸地の碑が建っています。

【場所】鹿屋市高須町(県道68号線沿い)

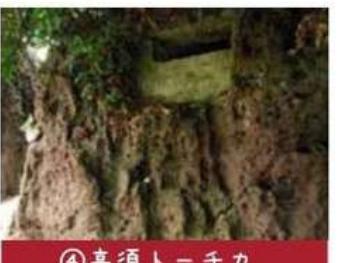
③金浜海岸(進駐軍上陸地の碑)



金浜海岸に上陸する進駐軍

終戦後の混亂の中、昭和20年9月3日
に進駐軍の先遣隊が鹿屋基地に降
り立ちます。先遣隊のシリンド佐は、
最初に質問したそうです。
恐れ、山間部に逃れたと言われていま
す。當時鹿屋の多くの人々が進駐軍を
そして翌4日、進駐軍アメリカ海兵
隊2,500人が高須の金浜海岸に上
陸しました。

り立ちます。先遣隊のシリンド佐は、
一方ミカゼボーイはどこにいるかと
最初に質問したそうです。
恐れ、山間部に逃れたと言われていま
す。當時鹿屋の多くの人々が進駐軍を
そして翌4日、進駐軍アメリカ海兵
隊2,500人が高須の金浜海岸に上
陸しました。



④高須トーチカ

米軍の本土上陸に備えて海岸部に作
られたトーチカ(陣地)です。コンクリー
トの見張り窓は海岸方向に向けられて
います。

【場所】鹿屋市高須町(高須海水浴場)

鹿屋市周辺MAP



発行／鹿屋市 ふるさとPR課 TEL0994-31-1121